

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁
メールニュース9月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、 plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

---● ミナトカモジグサ (*Brachypodium distachyon*) 完全長cDNAクローンの提供準備を進めています ●---

理化学研究所 環境資源科学研究センター (RIKEN GSRS) より寄託された単子葉の実験植物、ミナトカモジグサ Bd21 株 (標準系統) 完全長 cDNA クローンの提供を近日中に開始します。準備ができ次第、当室ホームページよりご案内致しますので、ぜひご利用ください。

-----● 国際研究集会にて展示を行います ●-----

第15回国際窒素固定会議 (18th ICNF、10月14日~18日、宮崎) において、展示ブースを出展します (展示期間: 15日午前~17日午前)。会議に参加される方は、ぜひお立ち寄りください。

<http://icnf18.brc.miyazaki-u.ac.jp/index.html>

-----● テクニカルサポート (No. 5): 植物培養細胞の取扱いについて ●-----

今月より植物培養細胞のプロトコルシリーズを開始します。初回は細胞株を入手する際に気を付けていただくポイントについて説明します。

1. 懸濁培養細胞株の場合、細胞懸濁液 25 ml 程度をコニカルチューブに入れてお送りします。懸濁培養細胞株を受け取ったら速やかに新鮮な培地に植え継いで振盪培養を開始してください。放置すると、酸素不足により増殖能力を失ってしまいます。なお、シロイヌナズナ T87 懸濁培養細胞株用に、初回の継代に用いる JPL 培地を有償 (¥1,000) で提供しています。ぜひ、ご利用ください。
2. 静置培養細胞株の場合、カルスを寒天培地 (プレート) に移植してお送りします。細胞の褐変や培地の乾燥がおきる前に、新鮮な培地に移植してください。
3. 培養細胞は宅急便 (常温) でお送りします。到着後も冷蔵庫や冷凍庫で絶対に保管しないでください。最悪の場合、細胞が死滅します。また、通常暗所で培養している細胞株を明所に放置すると、増殖に影響が出ることがありますので、ご注意ください。
4. 取扱いの詳細については発送時に同梱する技術資料を参照してください。技術資料は下記の URL からご覧いただけます。

http://epd.brc.riken.jp/manual/nazuna_treat2

第12回国際コムギ遺伝学シンポジウム、第31回植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム、及び日本植物学会第77回大会にて、当室の展示ブースに立ち寄っていただいた皆様に感謝いたします。皆様からいただいたご意見やご要望を事業に反映してゆきたいと思っております。また、リソースの寄託や提供に関わるご相談、ご質問は、お気軽に下記メールアドレスにお送りください。皆様のアクセスをお待ちしております。

❀*:・'° ❀° '・*:.. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://www.brc.riken.jp/lab/epd/>

❀*:・'° ❀° '・*:.. ❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀